

Q

PAT-NO: JP410042921A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10042921 A

TITLE: ROUND HANDLE UMBRELLA WITH KEY

PUBN-DATE: February 17, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TSUCHIDA, SHOGO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

TSUCHIDA SHOGO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08237117

APPL-DATE: August 4, 1996

INT-CL (IPC): A45B009/02, A45B003/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To surmount the severe defect of an umbrella that drops drip from the wet umbrella after rain stops falling and it is troublesome to carry it indoors in view of the cleanliness of a building in particular by concurrently applying a key function in the natural shape of the umbrella.

SOLUTION: The handle of an umbrella normally draws about a semicircle 2, and about a quarter circle 1 is added to it to close the portion of the handle. The quarter circle portion 1 is made movable, a normal type and a closed type are formed, and they can be fixed by a key 3 respectively. The portion of the handle has a bending point by some angle, and the portion can be bed at the start, end, and middle.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1998-186901

DERWENT-WEEK: 199817

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Umbrella with collapsible handle lock attachment - has
metallic fixture with key fits into hole in handle for
locking lock attachment at required position

PATENT-ASSIGNEE: TSUCHIDA S[TSUCI]

PRIORITY-DATA: 1996JP-0237117 (August 4, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 10042921 A	February 17, 1998	N/A	006	A45B 009/02

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 10042921A	N/A	1996JP-0237117	August 4, 1996

INT-CL (IPC): A45B003/00, A45B009/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10042921A

BASIC-ABSTRACT:

The umbrella has an arc shaped slidable lock attachment (1) attached to the semicircle part of the handle (2). A metal fixture (4) which fits in a hole (5) provided in the handle has a key (3) for locking the attachment at required position. A bend part (7) is provided in the handle at one end.

USE - For hanging umbrella in bicycle bar, staircase, hand rail, coatstand.

ADVANTAGE - Avoids wetting of floor by rain water. Provides security for umbrella.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/2

TITLE-TERMS: UMBRELLA COLLAPSE HANDLE LOCK ATTACH METALLIC FIX KEY FIT HOLE
HANDLE LOCK LOCK ATTACH REQUIRE POSITION

DERWENT-CLASS: P24

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1998-148658

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-42921

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月17日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 5 B	9/02		A 4 5 B	C
	3/00			A

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平8-237117

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月4日

(71) 出願人 596115894

土田 庄吾

兵庫県姫路市御国野町国分寺314

(72) 発明者 土田 庄吾

兵庫県姫路市御国野町国分寺314

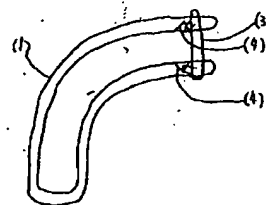
(54) 【発明の名称】 カギ付き丸柄傘

(57) 【要約】

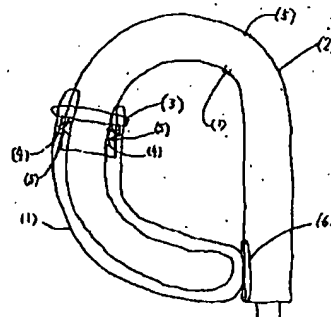
【課題】雨が降っている間は非常に重宝し、だれからもありがたがられる傘であるが、やんだあとは、濡れていて滴がたれる等々、特に室内で持ち歩くのは建物の清潔面からも、そしてなにより傘の持ち主にとって厳しく、これは、傘のもつ欠点の一つである。本発明は、傘の自然な形の中にカギの機能を併せ持たせることによって、この欠点を克服する、カギ付き丸柄傘である。

【解決手段】通常傘の柄は約半円(2)を描いているが、そのうえに約四半円(1)を足して、柄の部分を開けてしまう。その際、四半円の部分(1)を可動とし、通常の型と閉じた型とを作り、それぞれカギ(3)で固定できるようにする。又、柄の部分は、ある角度折れ曲がる点(7)を持っており、その初めと終わりで、さらにはその途中で固定できるようにする。

(a)



(b)



【特許請求の範囲】

【請求項1】通常、傘の柄は約半円を描いているが、その先に可動の約四半円の筒を足して、柄の部分を閉じ得るようにして、通常の型と閉じた型とを作り、それぞれカギで固定できるようにし、さらにその柄の部分を可動としたカギ付き丸柄傘である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、傘の盗難防止と置き場に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より傘の盗難防止については、傘縦がもっぱら一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには、近くに傘縦がなければならず、無い場合は、身じかに持っていなければならないが、これは邪魔物となり、雨に濡れたあとなどは最悪であった。本発明は、この欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】通常、傘の柄は約半円(2)を描いているが、その先に中空で二重の、魔法瓶の水槽に似た約四半円の筒(1)を足して、柄の部分を閉じ得るようにする。その際、約四半円の筒の部分(1)を折り畳みの傘の柱と同様に可動とし、通常の型と閉じた型とを作り、それぞれカギ(3)で固定できるようにする。この場合は、カギ(3)で金具(4)をとめる方法をとっているが、四半円(1)と半円(2)を通常の型と閉じた型の二点で固定できれば、筒同士の固定でもかまわない。又、柄の部分は、ある角度折れ曲がる点(7)を持っており、その初めと終わり、さらにはその途中で固定できるようにする。本発明は、以上の構成よりなるカギ付き丸柄傘である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を説明する。外出先で傘をしまう際、傘縦が無い場合でも両端

が固定された棒状のもの、例えば、自転車(f)、鉄棒(g)、階段の手すり(h)などがあればそこに傘を掛け、柄の部分をのばしてカギを掛け、傘を置いておける。ここで重要な点は、本発明品が傘にカギを付けただけの言葉どうりの実用に適さないものではなく、傘の自然な形の中にカギの機能を併せ持たせた、雨を遮って、かつそのうえにカギを持った傘であるという点である。

【0006】

【発明の効果】本発明を使用することによって、どこでも両端が固定された棒状のものさえあれば、そこに傘を置いておける。現代の科学をもってしても、降雨の正確な時間はわからず、外出時、人々は傘を持たねばならない。雨の降っている間は良いが、降っていない間、特に雨の降りやんだあと、傘縦が無い時などは、傘は、濡れていて滴がたれる等々の欠点を持っていた。本発明は、この欠点を大部分取り除きうるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の平面図

- (a) 傘の柄の約四半円の部分
- (b) 傘の柄の約半円と約四半円の部分の接合部分
- (c) 通常の場合
- (d) 閉じた場合
- (e) 傘の柄を90度曲げた場合

【図2】本発明の使用状態を示す図

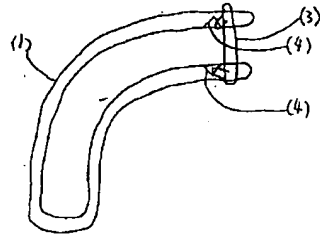
- (f) 自転車
- (g) 鉄棒
- (h) 階段の手すり

【符号の説明】

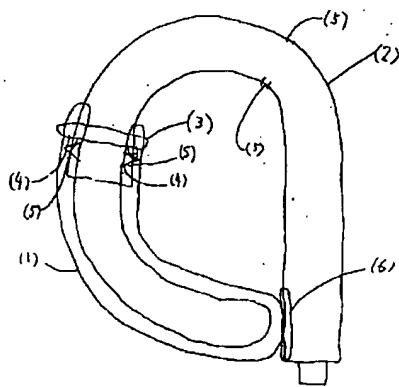
- 1 傘の柄の約四半円の部分
- 2 傘の柄の約半円の部分
- 3 カギ
- 4 金具
- 5 金具のはまる穴
- 6 損傷防止用のゴム板
- 7 傘の柄の折れ曲がり部分

【図1】

(a)

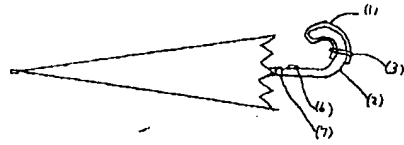


(b)

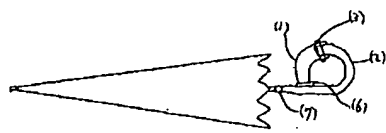


【図1】

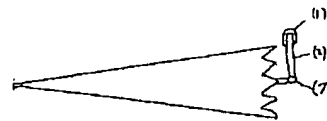
(c)



(d)



(e)

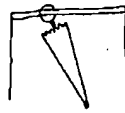


【図2】

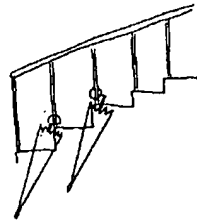
(f)



(g)



(h)



【手続補正書】

【提出日】平成9年8月11日

【手続補正2】

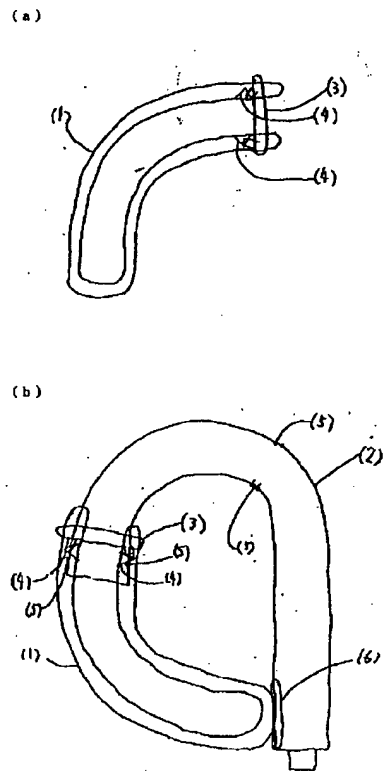
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

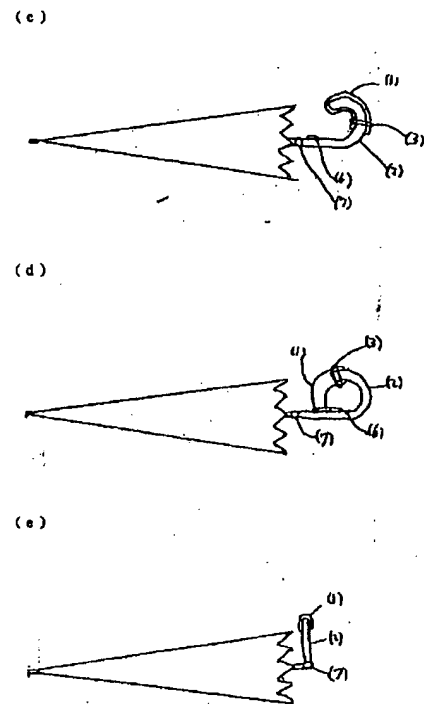
【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】

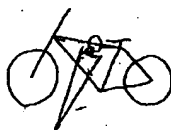


【図2】



【図3】

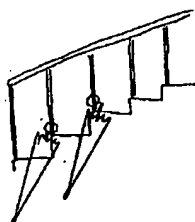
(f)



(g)



(h)



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の平面図

(a) 傘の柄の約四半円の部分

(b) 傘の柄の約半円と約四半円の部分の接合部分

【図2】本発明の平面図

(c) 通常の場合

(d) 閉じた場合

(e) 傘の柄を90度曲げた場合

【図3】本発明の使用状態を示す図

(f) 自転車

(g) 鉄棒

(h) 階段の手すり

【符号の説明】

1 傘の柄の約四半円の部分

2 傘の柄の約半円の部分

3 カギ

4 金具

5 金具のはまる穴

6 損傷防止用のゴム板

7 傘の柄の折れ曲がり部分